

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルリアルスポット相場は、Temer大統領を巡る政治的混乱が拡大したことでリアル売りが加速し、一時3.46台半ばまでリアル安が進行。その後は反発し、3.41台半ばで取引を終えた。ブラジル一部地元紙が報じているところによると、Marcelo Calero前文化相(18日に辞任)が「議会との連絡責任者である Geddel Vieira Lima氏が権益を保有する建設プロジェクトを承認するよう、Temer大統領から圧力を受けた」と主張していると共に、「圧力を受けた証拠となる録音テープも存在する」と述べている模様。疑惑の拡大を受け、Lima氏も25日に辞任している。一方、大統領スポークスマンであるAlexandre Parola氏は、「建設プロジェクトに関する対立を避けようと、Temer大統領がCalero氏と2回にわたって話をしたことは認められるが、大統領が内部ルールに反する決定を下すよう閣僚を誘導したことは一切ない」との見解を公表した。建設大手Odebrecht社の司法取引を巡る不透明感もリアルの重石となっており、ブラジルへの信頼を回復させつつあった投資家が再び政治リスクに直面している。

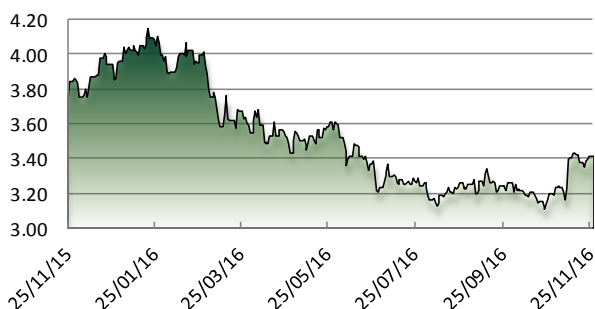
Temer大統領は週末にブラジリアで実施した上院議長・下院議長との共同記者会見において、①録音テープの存在は確認できていないが、圧力はなかったことが証明されると信じている、②本疑惑が財政改革に影響を与えることはない、③Odebrecht社の司法取引はまだ成立していない、等の見解を示した。

マーケットデータ

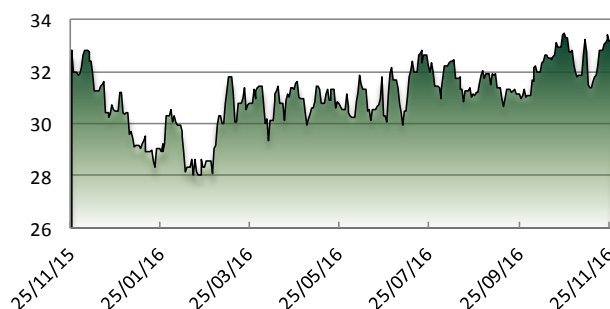
Indicator		Unit	11月24日	11月25日	前日比	10月25日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	3.3968	3.4141	+0.0173	3.1127	+0.3014
	対円	JPY	33.36	33.17	-0.19	33.48	-0.31
	対ユーロ	BRL	3.5860	3.6143	+0.0283	3.3900	+0.2243
円	対ドル	JPY	113.33	113.22	-0.1100	104.22	+9.0000
	対ユーロ	JPY	119.61	119.82	+0.21	113.49	+6.33
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	61,396	61,559	+163	63,866	-2,307
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	307.0	306.7	-0.3	265.6	+41.1
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	11.89	12.14	+0.25	11.12	+1.02
DI Future Apr17 (金利先物)		%	13.25	13.24	-0.01	13.37	-0.13
3 Months US Dollar Libor		%	0.937	0.937	+0.000	0.886	+0.051
CRB Index (国際商品指数)		Index	187.7	185.7	-2.0	189.3	-3.6

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルリアルスポットチャート



リアル円スポットチャート



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。